

## 第1号議案 令和2年度事業報告書、財務諸表の承認について

### 令和2年度事業報告書 (令和2年4月1日から令和3年3月31日)

#### 1. 事業概要

畜産を取り巻く状況は、畜産物生産に関しては、全国的には高病原性鳥インフルエンザの過去最大並びに豚熱（CSF）の継続発生による影響が出たものの、本県においては各畜種とも概ね順調に推移した。

一方経営的には、2年目を迎えた新型コロナウイルス感染症は、全国的には第4波と報道されるなど依然として衰えを知らない状況の中で、年度前半はインバウンドを含む業務用需要の減少や一斉休校要請等の影響で、畜種によっては需要が大幅に減少し、和牛枝肉価格とこれに連動した子牛価格の下落や卵価の下落など、現状では回復しているものの今後の感染状況等によっては再度の価格下落が懸念される状況である。また畜産経営コストの面では、牛では3割から5割、豚、鶏では6割を占める飼料費について、年度後半から飼料価格が上昇し、生産諸資材や配送経費等の高止まり傾向も続く中で、経営的にはマイナス要因が多く畜産経営には現在厳しい状況が続いており、今後もこの状況は続く予想される。

このような中、当協会においては肉用子牛生産者補給金事業、肉用牛肥育経営安定特別対策事業などのほか、年度中途から優良肉用子牛生産推進緊急対策事業や肥育牛経営等緊急支援特別対策事業、生産基盤拡大加速化事業を実施し、他団体との連携を密にしながら畜産経営安定のための各種支援事業に取り組んだ。

また、家畜伝染病対策として、日常的な衛生管理の強化や農場の清浄性の維持を図るための取り組みについて、関係団体との連携を強化しつつ関係事業の実施に努めた。

一方、厳しい財政状況を反映した既存の補助事業予算の縮小や事務費の削減に対し、事業がより効果的・効率的なものとなるよう努めるとともに、引続き新規事業の取り組みや経費の抑制を進めた。令和2年度における各種事業の具体的な実施状況は以下のとおりである。

#### 2. 事業の実施状況

##### I. 法人運営管理

###### 1. 総会

###### (1) 令和2年度定時総会

開催日・場所 令和2年6月29日（月） 島根JAビル

###### 議案

第1号議案 令和元年度事業報告書、財務諸表の承認について

第2号議案 会員規程の一部改正について

第3号議案 役員の改選について

第4号議案 その他

(2) 令和2年度第1回臨時総会

開催日・場所 令和3年3月26日(金) 島根JAビル

議案

第1号議案 令和3年度事業計画および収支予算について

第2号議案 生産者積立金融資事業資金の借入れについて

第3号議案 役員の辞任に伴う補欠選任について

第4号議案 その他

付帯決議

2. 理事会

(1) 第1回理事会

開催日・場所 令和2年6月12日(金) 島根JAビル

議案

第1号議案 令和元年度事業報告書、財務諸表の承認について

第2号議案 肉用子牛生産者補給金制度業務対象年間終了時における肉用子牛生産者積立準備金の残額の取扱いについて

第3号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る生産者積立準備金の業務対象年間途中における令和2年度の返還について

第4号議案 令和2年度島根県肉用牛経営安定対策補完事業実施要領の制定について

第5号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務方法書の一部改正について

第6号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務方法書の一部改正について

第7号議案 公益社団法人島根県畜産振興協会家畜防疫互助事業業務方法書の一部改正について

第8号議案 会員規程の一部改正について

第9号議案 公益社団法人島根県畜産振興協会と理事との契約の承認について

第10号議案 役員の改選について

第11号議案 令和2年度定時総会の開催について

第12号議案 その他(優良肉用子牛生産推進緊急対策事業実施要領の制定について)

付帯決議

報告事項 肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)制度について

(2) 第2回理事会

開催日・場所 令和2年6月29日(月) 島根JAビル

議案

第1号議案 公益社団法人島根県畜産振興協会と理事との契約の承認について

第2号議案 会長、副会長、専務理事の選定について

第3号議案 その他

(3) 第3回理事会（書面決議）

開催日・場所 令和2年10月8日（木） 島根JAビル別館

議案

第1号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務方法書の一部改正について

(4) 第4回理事会

開催日・場所 令和3年3月8日（月） 島根JAビル

議案

第1号議案 令和2年度収支補正予算について

第2号議案 令和3年度事業計画および収支予算について

第3号議案 生産者積立金融資事業資金の借入れについて

第4号議案 令和3年度役員報酬の決定について

第5号議案 役員の新任に伴う補欠選任について

第6号議案 令和2年度第1回臨時総会の開催について

第7号議案 就業規則の一部改正について

第8号議案 職員給与規程の一部改正について

第9号議案 嘱託職員等給与規程の一部改正について

第10号議案 人事規程の一部改正について

第11号議案 定年再雇用規程の一部改正について

第12号議案 その他

付帯決議

報告事項 償還円滑化積立金に係る返還先調査の取組状況について

3. 監査会

(1) 令和元年度監査会

開催日・場所 令和2年6月2日（火） 島根JAビル

監査内容 令和元年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、付属明細書、財産目録について監査を受け、適正なものと認められた。

4. 会員の状況

区分	期首	入会	退会	期末
正会員	14	0	0	14
賛助会員	0	0	0	0
計	14	0	0	14

## II. 公益目的事業

### 1. 畜産農家に対する経営の支援・指導のための事業

#### (1) 畜産経営支援・指導事業

##### ア. 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会）

実績額 7,254千円

畜産経営技術高度化推進事業をはじめとする畜産経営技術指導等を推進するとともに、畜産関係機関団体との連携を図りながら、畜産振興支援業務等を実施し、地域畜産の振興を図った。

##### イ. 畜産経営技術高度化推進事業（島根県）

実績額 75千円

専門家支援チームを設置し、個別経営の支援指導を行った。

#### <専門家支援チームの設置>

総括畜産コンサルタント	畜産コンサルタント	非常勤畜産コンサルタント
1人	0人	2人

#### <畜産経営技術の総合支援指導の実施>

区分	生産技術支援指導	経営技術支援指導	計
肉用牛繁殖経営	1件	1件	実1件（延2件）

##### ウ. 畜産特別資金等推進指導事業（(公社)中央畜産会）

実績額 2,149千円

畜産特別資金等借受者の、経営合理化および改善の進捗状況等を把握するための現地調査および助言・指導等を行った。

区分	回数	備考
都道府県支援推進協議会の開催	1	・7名出席
経営改善計画達成指導	12	・借受者7戸に対し、延12回で延51名が助言・指導
借受者の経営改善のための指導資料作成	10部	・指導に係る現地調査結果等

##### エ. 畜産生産性向上促進総合対策事業（独自事業）

実績額 502千円

相談窓口を開設することによって、就農相談等、生産者への直接支援を行った。また、馬事畜産振興を図るため協賛レースの実施に併せ「しまね産和牛肉」のPRを行った。

<相談窓口の開設>

区分	回数	備考
肉用牛肥育経営	1	・肉用牛肥育経営者に対して、独立行政法人家畜改良センターから提供のあった肉用牛枝肉情報をつないだ。
就農相談等	2	・肉用牛肥育経営への参入相談 ・ヤギ牧場開設相談

<馬事畜産振興の実施>

区分	回数	備考
「高知けいば」における協賛レース	1	島根県畜産振興協会協賛 「しまね産和牛肉」特別競走
「川崎けいば」における特別協賛レース	1	「ご縁の国しまね」特別協賛レース (黒毛のふるさと“しまね和牛”賞)

(2) 農業機械・装置貸付事業等指導事業

ア. 畜産近代化リース貸付事業指導等事業 ((公財) 畜産近代化リース協会)

実績額 91千円

公益財団法人畜産近代化リース協会から生産者に対して貸し付けが行なわれている設備・機械・器具および車輛について、利活用・保守管理状況の確認調査等を行うための台帳の整備を行った。

区分	生産者 (最終借受者)	農業協同組合 (再貸付団体等)
台帳整備	6	4

イ. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 ((公社) 中央畜産会)

実績額 1,506千円

1) 県内の各畜産クラスター協議会の中心的経営体に取り組む収益力強化のための機械導入 (リース等) 事業について、事業の推進業務や事業申請書等の取りまとめ、県との協議窓口業務等を行った。

参加要望協議会数	参加要望取組主体数	参加申請取組主体数	参加申請事業費
4	6	7	51,609千円

2) 導入された機械装置の取組主体、リース事業者による検収作業を補完するため、現地確認作業を実施した。

協議会数	取組主体数	機械装置数
1	1	2

ウ. 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪GO事業）（(公社)中央畜産会）

実績額 68千円

労働負担軽減事業の円滑な推進を図るため、県内における事業推進（PR）及び事業参加要望の取りまとめ等を行った。

区分	回数	備考
事業推進会議の開催	0	コロナのため資料送付による周知
事業参加要望の取りまとめ	2	

エ. 畜産経営体生産性向上対策事業（畜産ICT事業）（(公社)中央畜産会）

実績額 69千円

労働負担軽減事業の円滑な推進を図るため、県内における事業推進（PR）及び事業参加要望の取りまとめ等を行った。

区分	回数	備考
事業推進会議の開催	0	コロナのため資料送付による周知
事業参加要望の取りまとめ	2	

2. 畜産経営安定のための補給金等の交付や生産活動の支援等のための事業

(1) 畜産物価格安定対策事業

ア. 肉用子牛生産者補給金交付事業（(独)農畜産業振興機構・生産者手数料）

実績額 24,444千円

肉用子牛の価格が低落し、一定の基準価格を下回った場合に、生産者に対し補給金を交付し肉用子牛生産の安定を図る事業である。

平成31年1月～3月期はその他の肉専用種において平均売買価格が保証基準価格を下回り生産者補給金の発動があったが、本県においては該当する子牛がいなかったため交付はなかった。

肉用子牛保証基準価格及び合理化目標価格は、令和元年10月1日以降について改定が行われ、その後改定は無かった。

1) 生産者積立金造成内訳

単位：円

品種区分	契約頭数	積立単価	積立額	積立額（負担区分）		
				国	県	生産者
黒毛和種	1,752	1,200	2,102,400	1,051,200	525,600	525,600
	5,255	1,600	8,408,000	4,204,000	2,102,000	2,102,000
その他の肉専用種	0	12,400	0	0	0	0
	0	18,800	0	0	0	0
乳用種	326	6,400	2,086,400	1,043,200	521,600	521,600
	837	6,800	5,691,600	2,845,800	1,422,900	1,422,900
交雑種	475	2,400	1,140,000	570,000	285,000	285,000
	1,501	3,200	4,803,200	2,401,800	1,200,800	1,200,800
合計	10,146	—	24,231,600	12,115,800	6,057,900	6,057,900

(注) 1. 契約頭数及び積立造成時期は、令和2年1月～12月

2. 契約生産者の1頭当たり積立金額

R2.1～3月

黒毛和種：300円、その他の肉専用種：3,100円、乳用種：1,600円、交雑種：600円

R2.4～12月

黒毛和種：400円、その他の肉専用種：4,700円、乳用種：1,700円、交雑種：800円

2) 特別の積立金

<旧高騰時積立金>

単位：円

区分	品種区分				
	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	計
期首残高	753,341	0	0	0	753,341
増加	積立金	0	0	0	0
	運用益	75	0	0	75

	小計	75	0	0	0	75
減少	普通財産へ繰入	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
期末残高		753,416	0	0	0	753,416

<償還特別積立金>

単位：円

品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	計
期首残高		0	9,779,254	6,552,337	23,303,252	39,634,843
増加	積立金	0	0	0	0	0
	運用益	0	980	656	2,347	3,983
	小計	0	980	656	2,347	3,983
減少	償還円滑化積立金繰入	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
期末残高		0	9,780,234	6,552,993	23,305,599	39,638,826

3) 償還円滑化積立金の造成状況

なし

4) 生産者補給交付金交付状況

単位：円

区 分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計
契約生産者数(名)		—	—	—	—	790
契約登録頭数(頭)		7,007	0	1,163	1,976	10,146
保証基準価格		541,000	320,000	164,000	274,000	—
合理化目標価格		429,000	253,000	110,000	216,000	—
R2 1~3	平均売買価格	718,900	243,900	249,100	425,400	—
	生産者補給金単価	—	75,190	—	—	—
	交付対象頭数	—	0	—	—	—
	生産者補給金交付額	—	0	—	—	—
R2 4~6	平均売買価格	620,700	—	238,200	340,500	—
	生産者補給金単価	—	—	—	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	—	0
	生産者補給金交付金	—	—	—	—	0



R2 7～9	平均売買価格	654,800	—	241,000	332,000	—
	生産者補給金単価	—	—	—	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	—	0
	生産者補給金交付額	—	—	—	—	0
R2 10～ 12	平均売買価格	740,100	—	256,400	369,700	—
	生産者補給金単価	—	—	—	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	—	0
	生産者補給金交付額	—	—	—	—	0
合計	交付対象頭数	—	0	—	—	0
	生産者補給金交付額	—	0	—	—	0

※「その他の肉専用種」については、令和2年度より算定期間が1年(4月～3月)となった。

イ. 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業（(独) 農畜産業振興機構）

実績額 806千円

肉用子牛の価格が低落し、一定の基準価格を下回った場合に、経営改善に取り組む生産に対し奨励金を交付し、肉用子牛生産の安定を図る事業である。令和2年10月～3月期にはその他の肉専用種において全国平均価格が発動基準価格を下回り奨励金の発動があったが、本県においては該当する子牛がいなかったため交付はなかった。

<奨励金単価(1頭当たり単価)の推移>

単位：円

	肉専用種	その他肉専用種	乳用種	交雑種
R2.5	—	—	—	—
R2.6	—	—	—	—
R2.7	—	—	—	—
R2.8	—	—	—	—
R2.9	—	—	—	—
R2.10	—	30,000	—	—
R2.11	—	30,000	—	—
R2.12	—	30,000	—	—
R3.1	—	30,000	—	—
R3.2	—	30,000	—	—
R3.3	—	30,000	—	—

ウ. 肉用牛肥育経営安定交付金制度（(独)農畜産業振興機構・生産者手数料）

実績額 10,983千円

肥育牛1頭当たりの粗収益が生産費を下回った場合に、契約生産者に対して、その差額の90%を交付金として交付する。交付時にはその4分の3を国の交付金から、4分の1を生産者負担金から交付する。全品種に対し総額694,147千円余の交付を行った。

<交付金単価(1頭当たり単価)の推移>

単位：円

	肉専用種	交雑種	乳用種
R2. 4	237,603.6	148,130.1	52,145.1
R2. 5	214,857.9	146,220.3	46,925.1
R2. 6	217,252.8	190,413.9	48,078.9
R2. 7	133,593.3	180,387.9	39,031.2
R2. 8	148,091.4	153,076.5	51,616.8
R2. 9	109,624.5	163,894.5	39,206.7
R2.10	52,569.9	131,468.4	37,969.2
R2.11	—	79,365.6	38,144.7
R2.12	—	29,124.9	38,791.8
R3. 1	—	22,759.2	43,453.8
R3. 2	—	82,541.7	48,483.9
R3. 3	—	26,658.9	54,922.5

<令和2年度の契約生産者数及び交付金交付頭数等>

単位：頭・円

区分	契約 生産者数	事務委託 団体数	交付金交付	
			頭数	金額
肉専用種	30	3	3,417	453,232,026
交雑種			2,305	228,771,273
乳用種			325	12,144,205
計			6,047	694,147,504

<令和2年度の基金積立額>

単位：円

区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
生産者	42,000	0	0	42,000

※令和2年5月から令和3年5月末まで生産者負担金猶予のため基金の積立金は3頭のみ

エ. 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（肥育生産支援事業）（(公社)中央畜産会）

実績額 1,242千円

経営体質を図るために肥育経営強化対策を策定した肥育経営体に対して出荷頭数に応じた奨励金を交付する。全品種に対し1頭2万円の奨励金を総額136,420千円の交付を行った。

区分	参加生産者数	事務委託団体数	交付金交付	
			頭数	金額
肉専用種	50	3	4,676	93,520,000
交雑種			1,728	34,560,000
乳用種			417	8,340,000
計			6,821	136,420,000

オ. 肉豚経営安定交付金制度（(独)農畜産業振興機構）

実績額 95千円

県内の養豚経営者に対し肉豚経営安定交付金制度について周知を行った。

<事業参加戸数>

契約区分	契約生産者数
個人	0
特例有限会社	4
合計	4

(2) 肉用牛経営安定対策を補完する事業

ア. 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

((独)農畜産業振興機構)

実績額28,663千円

地域の中核的担い手が繁殖雌牛を増頭した場合や、生産農家が互いに助け合う肉用牛ヘルパー活動、条件不利地である離島での肉用牛生産などに対し補助金を交付することにより、各地域の自主性と創意工夫による生産活動への支援を行った。

23団体に対し、総額24,095千円余を交付した。

<事業の内容と事業費>

(単位：円)

区分	事業費		事業実施集団
		うち補助金	
1. 肉用牛生産基盤強化対策事業			
(1) 中核的担い手育成増頭推進	2,100,000	2,100,000	J Aしまねやすぎ地区本部他6集団
(2) 遺伝的多様性に配慮した改良	0	0	

基盤確保			
(3) 優良繁殖雌牛導入支援	0	0	
(4) 繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備	8,932,044	4,060,020	
(5) 肉用牛ヘルパー活動推進	14,526,233	5,819,636	やすぎ肉用牛ヘルパー組合他 11 集団
(6) 特定地域肉用牛広域処理円滑化支援	244,674	163,075	隠岐島後・島前死亡牛協議会
(7) 肉用牛振興推進指導	3,364,545	3,364,545	島根県畜産振興協会
2. 地域の特色ある肉用牛振興対策事業			
(1) 地方特定品種等の振興	0	0	
(2) 離島・山振地域肉用牛振興	11,952,090	11,952,090	J Aしまね (畜産課)
(3) 肉用牛振興推進指導	1,203,491	1,203,491	島根県畜産振興協会
合 計	42,323,077	28,662,857	

イ. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業のうち生産基盤拡大加速化事業 (肉用牛)

((一社) 全国肉用牛振興基金協会)

実績額 1,383千円

輸出の拡大に向けて輸出に適した和牛肉の増産を図るため、肉用牛の増頭に対し奨励金を交付する事業について、事業の推進業務や事業申請書等のとりまとめ等を行った。

10団体に対し、総額92,805千円の交付となった。

(単位：頭、円)

取組主体名	頭数	奨励金交付金額	備考
安来地区畜産クラスター協議会	14	3,444,000	
隠岐の島町畜産クラスター協議会	21	4,598,000	
隠岐島前畜産クラスター協議会	117	26,439,000	
出雲地区畜産クラスター協議会	93	19,896,000	
島根県農業協同組合石見銀山地区本部	44	10,824,000	
三瓶開拓酪農農業協同組合	2	350,000	
島根おおち畜産クラスター協議会	11	2,493,000	
いわみ中央地区酪農・肉用牛クラスター協議会	7	1,367,000	
石西地域畜産推進協議会	46	9,044,000	
(一社) 島根県配合飼料価格安定基金協会	82	14,350,000	
合 計	437	92,805,000	

(3) 和牛改良支援事業

ア. 島根県肉用牛とも補償制度 (島根県)

実績額 280千円

種雄牛造成を組織的、効率的に推進するため、新規種雄牛の交配と産子取得及び産肉能力調査に協力した生産者に対して総額16,285千円の助成金を交付した。

(内訳 県補助金10,029千円 生産者負担金(とも補償財源)6,256千円)

3. 家畜・畜産物の衛生対策等に係る支援・指導のための事業

(1) 家畜防疫・衛生対策事業

ア. 家畜生産農場衛生対策事業 (農林水産省)

実績額 6,549千円

牛ヨーネ病及び伝染性リンパ腫 (EBL)、牛伝染性下痢症 (BVD) の感染拡大防止対策、伝染性疾病の発生・流行防止のための予防接種を実施し、家畜衛生対策の強化を図った。

1) ヨーネ病対策

<令和2年度ヨーネ病とう汰推進費交付状況>

実施地域	交付頭数	検査機関
大田市	1	家畜保健衛生所
益田市	1	
飯南町	1	

2) EBL感染拡大防止対策

<令和2年度EBL検査実施状況>

実施地域	検査頭数	検査機関
松江市	32	家畜保健衛生所
安来市	47	
出雲市	244	
飯南町	3	
雲南市	117	
大田市	55	
浜田市	835	
美郷町	203	
益田市	1,801	
津和野町	114	
計	3,451	

### 3) BVD対策

＜令和2年度PI牛のとう汰費交付状況＞

実施地域	交付頭数	検査機関
該当なし	0	

### 4) 伝染病発生・流行防止のための防疫促進

組織的な対応が発生予防に有効な吸血昆虫媒介疾病の予防接種推進、家畜自衛防疫推進会議を開催した。(接種実績は＜令和2年度主要予防注射実施実績＞参照)

## イ. 家畜伝染病発生予防事業（独自事業）

実績額 44,607千円

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止、清浄性の維持を図るため予防接種を推進した。

### 1) 家畜自衛防疫推進会議の開催

家畜自衛防疫事業の円滑な推進を図るため、関係機関、家畜自衛防疫団体等の出席のもと推進会議を開催した。

区 分	開催時期	開催場所	参集範囲
家畜自衛防疫地域推進会議（2回）	R3.3	出雲市、浜田市	家畜保健衛生所、自衛防疫団体（JA、市町村）、農業共済組合、獣医師会、指定獣医師他

### 2) 広報事業等

家畜衛生対策の普及啓発と情報提供のため、以下の広報事業等を実施した。

ア)生産者及び関係機関に各種衛生関係パンフレット、家畜衛生カレンダー等の配布

イ)防疫指導機関及び指定獣医師に動薬手帳、馬の健康手帳を配布

ウ)感染症の蔓延防止のため、今まで配布していなかった指定獣医師に簡易消毒器並びに消毒薬を配布

### 3) 予防注射の実施

家畜伝染病の発生、流行防止のため家畜自衛防疫団体及び指定獣医師等と連携し、以下の予防注射を行なった。

＜令和2年度主要予防注射実施実績＞

予防注射の種類	実施頭数	前年対比(%)
牛5種混合(牛伝染性鼻気管炎)	6,308	99
牛イバラキ病	1,737	94
牛ヘモフィルス感染症	4,957	102

牛アカバネ病 ※	4 5 3	7 4
牛異常産3種混合 ※	1, 3 0 2	9 8
牛異常産4種混合 ※	1 1, 3 5 3	1 1 3
馬3種混合、馬インフル、日本脳炎	1 1 5	8 9

参考：※印は家畜生産農場衛生対策事業対象疾病

#### 4) 飼養衛生管理基準啓発普及支援事業

家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」の啓発普及を支援することにより、生産段階における防疫措置・体制の一層の強化・推進を図るため、以下の事業を実施した。

ア) PEDに対する農場衛生レベルの向上を図るため導入した動力噴霧機の確認業務を行った。

#### ウ. 家畜防疫・衛生指導対策事業 ((公社)中央畜産会)

実績額 2, 3 1 7千円

##### 1) 地域自衛防疫推進事業

家畜伝染病発生時の対応等を支援するため、防疫演習を行うと共に飼養衛生管理基準に基づく防疫対策の取組等の検討を実施した。

ア) 地域自衛防疫強化推進対策

地域自衛防疫体制の確認、防疫演習等の有効活動方策等の検討会の開催(年2回)

イ) 地域自衛防疫対策の推進(防疫演習の共催)

豚熱及び口蹄疫の防疫対策として、県が開催する防疫演習を支援し、防疫体制の整備・定着を図った。(防疫演習：1回)

##### 2) 地域農場HACCP認証支援事業

生産農場での衛生管理システム構築、内部検証及び継続的な改善の実施など農場HACCPの取組みを推進し、農場HACCP認証制度の普及、促進を図った。

ア) 普及推進協議会等開催

###### ①普及推進協議会

地域における畜産関係団体、農場HACCP関係者による普及推進のための方策について検討

###### ②地域取組促進活動

地域における農場HACCP関係者による、普及推進のための方策の検討、農場への取組みの周知などの活動

・農場HACCP認証制度研修会・講習会

・農場HACCP認証制度取組調査

イ) 農場HACCP認証構築指導推進事業

###### ①構築指導意見交換

###### ②構築指導事業

3) 地域推進事務費

上記ウ.の1)及び2)の事業を円滑に推進するための事務費。

エ. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業 ((公社)中央畜産会)

実績額 364千円

地域における自主防疫活動の強化を図るため、競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザ等のワクチン接種の推進及び馬飼養衛生状況等の知識の普及啓発などの取組みを行ない馬伝染性疾病防疫推進の徹底に努めた。

馬防疫推進のため、地域対策検討会を開催した。

<地域対策検討会開催状況>

開催時期	開催場所	参集機関	内容
R2.7 R3.2	出雲市	県家畜衛生関係機関、JAしまね、獣医師会、県農業共済組合	事業実施状況の報告及び事業推進、馬インフルエンザ等のワクチン接種推進の協議

オ. 馬飼養衛生管理特別対策事業 ((公社)中央畜産会)

実績額 491千円

馬防疫推進のため、委員会及び講習会の開催と馬獣医療実態調査を実施した。

<委員会開催状況>

開催時期	開催場所	参集機関	内容
R2.7	出雲市	県家畜衛生関係機関、JAしまね、獣医師会、県農業共済組合	事業実施状況の報告及び事業推進、講習会開催等の協議

<馬獣医療実態調査実施状況>

調査時期	調査戸数	内容
R2.10	14	家畜伝染病予防法に基づく飼養衛生管理区域の設定、重要な馬伝染性疾病の認識度、地域獣医療の実態調査県下全域

<馬衛生管理技術地方講習会開催状況>

開催時期	場所	参加者	講師	講演内容
R2.9	雲南市	26	山口大学 共同獣医学部	馬の骨と関節の疾患について

カ. 牛疾病検査円滑化推進対策事業 (農林水産省)

実績額 2,681千円



島根県及び地区死亡牛処理協議会と連携し、死亡牛の適切な管理・輸送とBSE検査の円滑化、適正処理を推進した。

<令和2年度死亡牛適正処理実績（化製処理頭数）>

単位：頭・円

処理頭数	地区別頭数（内訳）							生産者に対する補助金交付実績
	東部	雲南	出雲	県央	石西	島前	島後	
143	20	27	38	36	13	5	4	1,716,800

備考：当該事業補助対象は96ヶ月齢以上及び96ヶ月齢未満の検査対象死亡牛

キ. 家畜防疫互助基金支援事業（(独)農畜産業振興機構、(公社)中央畜産会）

実績額 961千円

家畜の伝染病が発生した場合（口蹄疫、牛疫、牛肺疫、CSF及びASF）、農家への経営支援策として生産者と国で基金を造成し、生産者の経済的損失を生産者が互助補償する事業に養豚農場、各JA及び酪農組合の協力を得て本事業を推進し、生産者積立基金を造成した。

<令和2年度契約戸数・頭数及び生産者積立実績>

単位：円

畜種	飼養戸数	飼養頭数	加入者数(加入率)	契約頭数(加入率)	積立金
乳用牛	954	11,344	747(78.3%)	12,256(108.0%)	2,418,440
肉用牛		31,600		28,547(90.3%)	4,072,895
豚	8	40,232	5(62.5%)	36,099(89.7%)	6,351,300
計	962	83,176	752(78.2%)	76,902(92.5%)	12,842,635

(注) 飼養戸数及び飼養頭数：令和2年2月1日調査

ク. 島根県消費・安全対策交付金事業(農林水産省・生産者負担)

実績額10,579千円

豚熱等の伝染性疾病の発生防除のため、農場への野鳥等の侵入防止（ウイルスの侵入防止）対策として防鳥ネットの設置を推進し、県内養豚農場の衛生レベルの向上を図った。

(交付金4,809千円、生産者負担金5,770千円)

(2) 獣医師養成確保対策事業

ア. 獣医師養成確保修学資金貸与事業（農林水産省・島根県）

実績額 6,009千円

本県での産業動物臨床獣医師への就業を志す獣医学生に対し、獣医修学資金の貸与を行い、産業動物臨床獣医師の安定的確保を図るため、貸与希望学生を募集し、3名の学生（継続1名、新規2名）に対して獣医修学資金を貸与した。

また、返還の申し出があった2名の貸与者について、その処理を行った。

イ. 獣医師確保対策就職奨励金給付事業（島根県）

実績額 46千円

本年度について給付対象者は無かったが、獣医師確保対策就職奨励金給付事業実施要領に基づき、県職員として採用された獣医師1名が業務従事期間の3年を経過せず退職したため、就職奨励金の返還を行った。

（平成28年度基金造成費 10,000千円 給付金額：500千円/名）

<令和2年度奨励金実績>

ア) 就職奨励金返還実績 1名分： 500,000円

イ) 就職奨励金残額 9名分：4,500,000円

### Ⅲ. 収益事業等

#### 収益1 書籍販売事業

実績額 67千円

中央畜産会の月刊誌「畜産コンサルタント」その他参考となる図書の購読を斡旋した。

#### その他1 調査事務等受託事業

##### (1) 種馬登録事業 ((公社) 日本馬事協会)

実績額 28千円

島根県農業協同組合隠岐どうぜん地区本部に対して、公益社団法人日本馬事協会の種雄馬管理の登録事務を受託実施した。

##### (2) 畜産関係団体調整機能強化事業 ((公社) 中央畜産会)

実績額 1,057千円

###### ア) 畜産経営相談窓口整備

生産者等からの各種相談に応じるため、職員が研修会に参加しスキルアップを図るとともに、生産者からの相談により「第11回全国モーモー母ちゃんの集い in しまね」実行委員会の構成団体として活動支援を行った。また、全国優良経営発表会において肉用牛一貫生産農家の支援を行った。(優秀賞)

#### その他2 事務局事務受託事業

実績額 6,884千円

県内で活動する畜産関係団体の事務局業務を受託実施した。また、畜産団体相互の交流事業に対する支援を行った。

事務局事務受託先	
島根県牛乳普及協会	しまね畜産女性ネットワーク
島根県乳業協会	島根県死亡家畜処理推進連合協議会
島根県養鶏協会	島根県養鶏クラスター推進協議会
島根県馬事畜産振興協議会	島根県肉用牛とも補償運営委員会

主 要 処 理 事 項

年月日	処 理 事 項	場 所 等
【令和2年】		
6月9日	肉用牛経営安定対策補完事業及び生産基盤拡大加速化事業推進会議	出雲市(ニューウェルシティ出雲)
6月19日	死亡家畜処理推進連合協議会通常総会	松江市(JAビール)
6月25日	島根県養鶏協会および養鶏クラスター推進協議会通常総会	出雲市(JAしまね本店)
7月15日	肥育牛経営等緊急支援特別対策事業説明会	松江市(島根中央家畜市場)
7月16日	しまね畜産女性ネットワーク総会	出雲市(JAしまね営農経済本店)
7月18日	中国地区畜産協会競馬振興冠レース	高知(高知競馬場)
7月28日	島根県肉用牛とも補償運営委員会	大田市((株)島根県食肉公社)
7月31日	家畜衛生対策事業(JRL)推進会議(4事業)	出雲市(ニューウェルシティ出雲)
8月5日	獣医師修学資金選考委員会	松江市(JAビール)
8月28日	管理責任者等研修会【リモート】	松江市(JAビール)
9月3日	しまね女性ネットワーク研修会	大田市(山の駅さんべ)
9月3日～4日	J-GAP審査員養成研修	神奈川(レンブラントビル厚木)
9月7日	馬飼養衛生管理技術地方講習会	出雲市(MKホースパーク)
9月11日	畜産特別支援資金等推進指導事業ブロック会議【リモート】	松江市(県職員会館)
9月17日	首都圏における競馬振興(島根和牛肉PR)	神奈川(川崎競馬場)
9月28日	農場HACCP認証制度研修会	出雲市(ニューウェルシティ出雲)
10月8～9日	家畜伝染病予防研修会	出雲市(家畜病性鑑定室他)
10月12日	中国ブロック畜産協会等常勤役員・事務局長会議	鳥取(ホテルモナーク鳥取)
10月17日～18日	中国地区畜産協会競馬振興冠レース	高知(高知競馬場)
10月29日	島根県養鶏衛生研修会	出雲市(JAしまね営農経済本店)

年月日	処 理 事 項	場 所 等
11月10日	島根県GAP生産者協議会設立総会及びGAP振興大会	出雲市(出雲合同庁舎)
11月25日	全国優良畜産経営管理技術発表会【リモート】	松江市(テクノアークしまね)
11月30日	しまね女性ネットワーク意見交換会	美郷町他(西楨牧場他)
12月1日	農場HACCP認証制度講習会	浜田市(石央文化ホール)
12月3日	農場HACCP審査員力量向上研修【リモート】	松江市(JAビル)
12月18日	飼養衛生管理基準研修会	奥出雲町((農)中国牧場)
【令和3年】		
1月13日	学校給食用牛乳供給推進全国会議【リモート】	松江市(JAビル)
1月21日	学校給食用牛乳供給推進会議	松江市(JAビル)
1月25日	第2回管理責任者等研修会【リモート】	松江市(JAビル)
2月15日	女性職員研修会【リモート】	松江市(JAビル)
2月19日	家畜衛生対策事業(JRL)推進会議(3事業)	出雲市(朱鷺会館)
2月24日	中央打合会【リモート】	松江市(JAビル)
2月26日	家畜防疫互助基金支援事業中央推進会議【リモート】	松江市(JAビル)
3月2日	肉用子牛生産者補給金制度経理研修会【リモート】	松江市(JAビル)
3月10日	肉用牛肥育経営安定交付金制度全国会議【リモート】	松江市(JAビル)
3月16日	島根県畜産特別資金等借受者指導推進協議会	松江市(JAビル)
3月22日	家畜衛生対策事業推進会議(4事業)	出雲市(朱鷺会館)
3月23日	家畜衛生対策事業推進会議(4事業)	浜田市(石央文化ホール)
3月23日	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業全国推進会議【リモート】	松江市(JAビル)
3月26日	肥育牛経営改善等緊急対策事業全国推進会議【リモート】	松江市(JAビル)